

芦えんさ 川プロジェクト

200年の古民家を地域の未来へ繋げたい



クラウドファンディング挑戦中

2022年
3月31日
まで

過疎化が進む地域を元気にしたい。そんな思いから山梨県立大学の学生と地域住民で、笛吹市芦川町に残る、築200年の古民家のDIYリノベーションに取り組んでいます。目標は地域住民や観光客の交流拠点として活用することです。学生と芦川住民が共創する「芦川えんさプロジェクト」。ご支援や応援よろしくお願いします！

目標金額

200

万円

支援方法

クラウドファンディングサイト「CAMPFIRE」のプロジェクトページへアクセスするとお申し込みが可能です。

※クレジットカード・コンビニ支払い・銀行振込・ソフトバンク/ワイモバイルまとめて支払い・auかんたん支払い・ドコモ払い・Famipay・Paypal・楽天ペイ・PayPay・auペイ

どうか温かなご支援をよろしくお願いいたします！

<https://camp-fire.jp/projects/view/550737>



私たちについて

1 『えんさプロジェクト』って？

山梨県立大学安藤ゼミでは、過疎化に直面する笛吹市芦川町での地域活性化プロジェクト、「芦川えんさプロジェクト」に取り組んでいます。「えんさ」とは芦川町の方言で「縁側」を意味し、住民の大切なコミュニケーションスペースです。「えんさから生まれる繋がりで、芦川地域を活性化したい」そんな想いを込めて名付けました。

2 地域への想い

プロジェクトがスタートした 2017 年よりこれまで、私たちは度重なるフィールドワークや交流イベントの開催、観光マップの作成などを行ってきました。その中で触れてきた、兜造の家々や自然の美しさ、芦川の風土で育まれた食文化、そして何よりも来訪者を暖かく迎え入れてくれる芦川住民の暖かさ。初めは学びの場であった芦川は、いつの間にか私たちにとって「また帰りたい」と思える、「第二の故郷」となっていました。そんな私たちの心にはいつしか、「芦川の良さを損なうことなく、地域を繋いでいきたい」という想いが芽生えていました。

3 築 200 年の古民家を未来へ

現在私たちは、この想いのもとに築 200 年の兜造の古民家のリノベーションを行っています。カフェを中核に、時には住民の交流スペースとして、時には芦川観光の発着拠点として活用していきます。そうすることにより、兜造の風景をはじめ、芦川の文化やコミュニティを繋いでいくことが出来ると考えています。

